

令和 8 年 1 月

(第 1 回)

京都府教育委員会会議録

1 開 会 令和 8 年 1 月 20 日 午後 3 時 01 分
閉 会 令和 8 年 1 月 20 日 午後 3 時 21 分

2 出席委員等

前 川 教 育 長 小 畑 委 員 安 岡 委 員 藤 本 委 員
鈴 鹿 委 員 植 木 委 員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

大路 教育次長	山下 教育監
相馬 指導部長	南 総務企画課長
石崎 文化財保護課長	山本 総合教育センター所長
瀬津 総務企画課主幹兼係長	中村 総務企画課主事

5 議事の大要

(1) 開会

教育長が開会を宣言

(2) 前会議録の承認

12月分の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認した。

(3) 報告事項

ア 「恭仁宮跡」の特別史跡への指定について

【石崎文化財保護課長の報告】

○ 今回、木津川市に所在する恭仁宮跡（山城国分寺跡）が、特別史跡の指定を受けたことについて報告する。京都府内での特別史跡は、本件で4件目となる。

恭仁宮は、天平12年（西暦740年）に聖武天皇が遷都を宣言し、以後3年3ヶ月嘗まれた宮都で、平城還都後に大極殿が山城国分寺に施入された。大極殿基壇や国分寺の七重塔基壇が残っており、発掘調査により朝堂院や2つの内裏相当の区画等が見つかっている。国分寺建立の詔や墾田永年私財法などの重要な法令が出された宮跡であり、古代宮都の変遷やあり方を伝える極めて重要な遺跡である。

【質疑応答】

○ 鈴鹿委員

奈良の平城宮跡には大極殿が復元されて話題を呼んでいたが、今回の恭仁宮跡では、そのような計画はあるのか。

○ 石崎文化財保護課長

今回指定された恭仁宮跡は、基壇が良好な状態で残存していることから、そこをアピールして楽しんで貰えるような方向性で考えている。

○ 小畠委員

現地視察に行ったが、現状では、礎石が残存しているだけであった。

アピール出来るようなミュージアム等の新しい取組があれば、興味を示して貰えるのではないか。

○ 石崎文化財保護課長

子どもたちにも興味を持ってもらえるように、楽しみながら学べる環境を山城郷土資料館とも連携して作っていきたい。

○ 鈴鹿委員

体験型学習が可能な環境を整えることができれば、子どもたちが楽しみながら学べる場になると思う。

○ 石崎文化財保護課長

山城郷土資料館や地域との連携、そして、様々なご意見を元に、より良い広報活動を実施していく。

(4) 閉会

教育長が閉会を宣告